

## 2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月5 : /Mon.5

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111501			
科目番号 /Course Number	10160263			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義・演習 : Lecture/Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	現代社会に学ぶ問う力・書く力（リベラルアーツ・ゼミナール） : Logical Thinking and Academic Writing ( Liberal Arts Seminar)			
担当教員名 / Instructor(s)	/(杉山 東洋) : SUGIYAMA Toyo			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	○
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1220			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>本ゼミナールでは、「小論文の受験勉強を全くしてこなかった学生」を対象にして、「論理的な文章の書き方」を指導する。15回という回数で、小学生レベルの復習から始め、大学のレポート試験で苦勞することのないレベルにまで仕上げていく。前半テキスト『ふくしま式 200 字メソッド 「書く力」が身につく問題集【小学生版】』は、論理的思考力を「対比関係」「因果関係」「具体・抽象関係」の三点から捉え、書く力を鍛えていくものである。小学生向けの問題集だが、大学生にも充分役立つ問題集である。後半テキスト『知的複眼思考法』は、東京大学の講義をもとにして執筆された「論文の書き方」の定評ある教科書である。</p> <p>また、レポート執筆のためのスタディスキル（文献検索法、WORD の使い方、脚注・参考文献の書き方）を 1 から説明する。WORD の使い方に自信がない学生を対象とする。</p> <p>本ゼミナールでは、『「問い」を意識しながら読み、『問い』を意識しながら書く』という、すべての科目に共通する初年次教養教育を展開する。大学での学びは「聴く」ことや「読む」ことといった受動的な学びに、「問う」ことや「書く」ことといった能動的な学びが伴って初めて完結することを伝える。</p>
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	<p>論理的思考（対比関係、因果関係、具体・抽象関係）を意識した文章を書くことができる</p> <p>「問い」の柱が立っている文章を書くことができる</p>

	自ら「問い」を発見し、議論の中で、ファシリテーターを担当することができる
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	「類似からの議論」への反論文①
	英		
2	日	第 2 回	「類似からの議論」への反論文②
	英		
3	日	第 3 回	「対比関係」「因果関係」「具体・抽象関係」を意識した論理的文章①
	英		
4	日	第 4 回	「対比関係」「因果関係」「具体・抽象関係」を意識した論理的文章②
	英		
5	日	第 5 回	考えるための作文技法（「書く」ことと「考える」こと、接続詞を意識的に使った文章）
	英		
6	日	第 6 回	「問い+答え」の型をとった 200 字小論文①（小論文の純粹型、「問い+答え」の連鎖）
	英		
7	日	第 7 回	「問い+答え」の型をとった 200 字小論文②（恋愛相談の回答者になってみる）
	英		
8	日	第 8 回	問いの二形態と問いのブレイクダウン（「調べる」問いと「考える」問い）
	英		
9	日	第 9 回	レポート執筆のためのスタディスキル（文献検索法、WORD の使い方、脚注・参考文献の書き方）
	英		
10	日	第 10 回	概念とは何か（抽象化）
	英		
11	日	第 11 回	思考とは何か（「個別的・具体的なことから」と「一般的・抽象的なことから」の往復）
	英		
12	日	第 12 回	「実体論的」なものの見方と「関係論的」なものの見方
	英		
13	日	第 13 回	逆説の発見（行為の意図せざる結果）
	英		
14	日	第 14 回	メタを問う①（問題のはやり・すたり）
	英		
15	日	第 15 回	メタを問う②（作られる問題・隠される問題）
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	<p><b>【履修条件】</b> グループワークやプレゼンテーションを取り入れた学びに積極的に取り組めること。</p> <p><b>【履修対象】</b> 1. 小論文の受験勉強を全くしてこなかった学生 2. レポートを書く際に必要なパソコンスキルが身につけていない学生 3. 三大学の学生と交流しながら学びたい学生</p> <p><b>【その他】</b></p>

	「現代社会に学ぶ問う力・書く力」（前期）の発展科目として、「時事問題で学ぶファシリテーション」（後期）を開講する。
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	予習を前提とした「反転学習」を取り入れ、授業時間は参加者の議論に重点を置くことがある。 『ふくしま式 200 字メソッド 「書く力」が身につく問題集【小学生版】』を課題にする。  本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	<p>【テキスト】</p> <p>下記 2 冊を毎回持参すること</p> <p>(1) 荻谷剛彦『知的複眼思考法』講談社、2002 年。（講談社 + <math>\alpha</math> 文庫版、968 円）</p> <p>(2) 福嶋隆史『ふくしま式 200 字メソッド 「書く力」が身につく問題集【小学生版】』大和出版、2015 年。（1,540 円）</p> <p>【参考書】</p> <p>(1) 岡田寿彦『論文って、どんなもんだい 考える受験生のための論文入門』駿台文庫、1991 年。</p> <p>(2) 香西秀信『反論の技術・実践資料編 学年別課題文と反論例』明治図書、2008 年。</p> <p>(3) 山田ズーニー『伝わる・揺さぶる！文章を</p>
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	本講義は、少人数講義であるため、授業での発表と課題の提出を重視する。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	本科目は、三大学の学生が交流しながら学ぶ「少人数ゼミナール形式」の授業である。
英	